## チロとクマのこと



ヨメ?!

十勝で約100年続くとやま農場の長男と、 2015年2月に電撃入籍。雑誌の編集を続けな がら、休日には農場の仕事を手伝う。 クナウマガジンが発行する 「northern style スロウ十勝」で ヨメ?! 通信を連載中。

## のヨメ VOL.3

農家に嫁いで感じた 「?」や「!」をお届けします。 農家の暮らしは、 かなりオモシロイ!

が助けてからここに居着いている。 四男晶浩が連れてきた。新米のクマ 匹の長チロ(雑種、オス)は約10年以 けど我が家は転勤族だったことも て家の前で事故にあったところを夫 上前に新聞の「譲ります」広告を見た も冬も外で元気に過ごしている。 物を飼うことは許されていなかった。 (雑種、オス)は、2年前に急に現れ 金網で囲まれた広いサークルの中 昔から犬を飼うのが夢だった。 結婚して思いがけずこの夢が叶っ 外山家には2匹の犬がいて、夏 金魚やカブトムシ以外の動

突っ込んでいるのだけど、チロとク まるで夢の中にいるような美しさに マと一緒に畑のあぜ道を歩く光景は 満ちていた。

気にも留めない様子で草むらに鼻を に染める。 空と大地、 高山脈に真っ赤な夕陽が沈んでいき 敷地をぐるりと回る散歩コース。日 わりつきながらついてくる。 た。チロは相変わらず紐に繋がれて て何度かチロとクマと散歩に出掛け クマは自由に私とチロの周りにまと もちろん彼らは、そんな風景など 2匹と1人をオレンジ色

鎖で繋がれていて、クマは自由に歩

にいるのだけど、チロはその中でも

間にか脱走していたりする。 れることはなくなった。 ŧ 外山家に加わった私のことも私の車 いつの間にか覚えてくれ吠えら

> 1= 1-23

今年の夏は、休日の畑仕事を終え

見ると、 じ取れる感性を身につけていきたい 半分まで雲がかかると雨が降る」。じ 通りになるのだ。衛星による天気予 いちゃんがそう言うと、 敏感に感じ取ることができる。「山の 望む暮らしは、四季や天候の変化を 標高2052メートルの山だ。山を な山」という意味。日高山脈の主峰 ていた。遠く、高いその山は幌尻 ことは多い。そのわずかな信号を感 岳。ポロシリとはアイヌ語で「大き 気温がグンと下がった秋の日。 喉仏だけが真っ白に染まっ 自然が教えてくれる 本当にその



## 十勝観

らだ。そんなことさえしなければ、 を引きちぎってでも脱走を試みるか

サークルの中では自由にいられるは

何度も繰り返すからいつ

く食べ物に目がないチロは、 うけっこうな年のはずなのにとにか き回っている。なぜかというと、も

金網

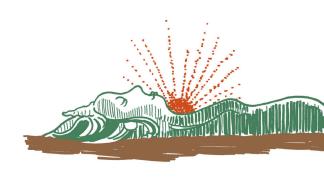
ぽっちゃり体型。家族の間では「女 身まで人が横たわっているように見 というものだが、いくつもの山が連 りの中で、母が「十勝観音」と呼ぶ仏 の人かな~」なんて話していたりす えるのだ。胸とお腹が少し出ている なって、頭から喉仏、胸、 様がいる。正確には、そう見える、 山脈が望める。いくつもの山の連な な日は何か良いことが起こるような 身がくっきり見える日もある。 農場からは北海道の屋台骨、 雲に隠れている日もあれば、全 腹、下半

ルと紐で入口を閉じているのをじっ う感じで外に出たり、私たちがポー りかじり開けた穴から「どうも」とい

自分で器用に開けていつの

は頭も要領も良くて、チロが無理や

も首輪に繋がれている。一方のクマ



## 最後の収 穫

ちでいっぱいだった。 チョロギを手作業でとっていくのは り返し根の先に付いた白く巻貝状の トルを2畝程度。それでも、土を掘 れた分のみ作っているため、30メー 理などに使われるらしい。人に頼ま と書き、めでたい作物として正月料 国が原産地で、漢字では「長老木」 いうことが嬉しく、また感謝の気持 も巻き込んで家族総勢7人で作業を 結構時間と手間がかかる。私の両親 んなで何かひとつのことができると した。両親が嫁ぎ先に来てくれ、み 「チョロギ」を穫った。そもそもは中 11月14日。今年最後の収穫物

れるドラマの種を大切に摘み、自分 2016年もまた、 も気付けばもう半月足らず。来たる さまざまなことがあった2015年 とができてホッとしている。一年に 間に終わったが、無事冬を迎えるこ なりの言葉で届けていこうと思う。 農業シーズンは気付けばあっという 度の種蒔きと、一年に一度の収穫 初めての土地での初めての生活。 日々繰り広げら